

キ一仕漢ヲ引致ヤシルヤ群衆ハ西巡査ヲ取
卷キ右仕漢ヲ大尊還シタル上根棒様ノモノニ以テ
改打シ爲メニ古川巡査ノ如キハ殆ド一時人事不省
ニ陥ルニ至リタリ急ヲ聞キ現狀ニ與付ケタルニ三ノ
巡査ハ兩巡査ヲ救援スベク拔劍シ群衆ヲ脅威
シタルニ遂ニ群衆ハ四散スルニ至リタルガ此間群
衆ハ盛ニ瓦礫ヲ投付ケタルノ垣尾警部補以
下三名職中二名ノ輕傷者ヲ出シタリ(添付第一
一第三圖参照)
要之二十九、三十兩日ニ亘リ巡査ノ拔劍ヲ見ルニ至リ
タルハ何シテ當時ノ伏勢上止テ得サリシモノニシ
テ監督者ノ指揮ヲ俟ツノ暇無カリシモノト定
料ヤラル

十、常峯職工ノ死セト當局ノ措置

七月二十九日新浦地南ニ於ケル衝突ノ際川崎
造船所兵庫分工場職工常峯俊一ガ重傷ヲ
負ク遂ニ八月二日死セスルニ至リタルヨリ爭議團一

派ハ之レ横暴ナル改言官ノ兇刃ニ斃レタルモノナ
リト叫ビ當局論難ノ聲ヲ江湖ニ高カラレノ
シルハ一面爭議ノ前途ニ一種ノ暗影ヲ投シ事
態ヲシテ紛糾ヤシメタルコト言ハレタス

然ルニ當局ハ私立大國病院醫師保田芳助ノ
常峯職工ニ對スル七月三十一日附診斷書中
一、左背脾臟部刺創創口形状丁字形長サ
ニ仙米、深サ肺臟ニ達ス
一、兇器ハ多小鋭利ナル尖端ヲ有スル兩刃ノ
モノナランカ

トアルヲ唯一ノ根據トシテ常峯ハ改言官ノ佩劍
ニ依リテ負傷シタルモノニアラズト揚言シ爾来
十餘日其下千人ノ何人ナルヤニ付キ毫モ調査
ヲナササルノミナラス只管該問題ニ纏ヒサラン
コトヲ努メタルモノノ如キハ遺憾トスル所ナリ
然ルニ爭議團ハ巡査ガ佩劍ニテ常峯ヲ刺